

かがやき

会報
第15号

発行 三重県立看護大学同窓会

514-0116 三重県津市夢が丘 1-1-1 e-mail: dousokai@mcn.ac.jp

令和6年4月発行



<http://dosokai.link/mcdousokai/>



Contents

- | | | | |
|-----------|---|-----------|---|
| 同窓会役員より… | ② | 決算報告…………… | ⑤ |
| 学長挨拶…………… | ② | HPリニューアルの | |
| 卒業生を追う… | ③ | お知らせ…………… | ⑥ |
| 同窓会講演会… | ④ | クラス会支援… | ⑥ |
| 総会報告…………… | ⑤ | 計報のお知らせ… | ⑥ |
| 活動報告…………… | ⑤ | | |

同窓会役員より

卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

同窓会執行部役員の6期生乾明菜です。

同窓会では卒業生の皆さんとつながり続けるために、講演会の企画や会報誌の発行など様々な活動を行っています。

しかし、近年は「つながる」ことの難しさを感じます。2020年以降続く、新型コロナウイルス感染症による活動の自粛や縮小などで、コミュニケーションの機会が失われてきました。令和5年度の卒業生は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、これまでと異なる学生生活を余儀なくされた学生たちです。

つながりにくくなっている今だからこそ、同窓会活動の重要性を感じています。同窓会活動が卒業生の皆さんを応援する1つになるよう、今後も取り組んでいきたいと思っておりますので、ご意見や要望を同窓会へお寄せください。

三重県立看護大学同窓会 副会長 乾 明菜



学長挨拶

新年度を迎えるこの時期は終わりとはじまりが隣りあわせに存在し、あくせくしてしまいます。同窓会へのメッセージをと筆をとり、今までのかがやきを拝見しながら書いています。短大・大学の卒業生たちのクラス会や大学祭への参加など様々な体験を寄せていらっしゃる仲間たちの活動を、ありがたく・たくましいと思いました。

これまでの自分の体験でも、同窓会の活動や集まりでは、初めて出席しましたと言われる方々がいました。毎回何人が集まるかが気になったりもしていましたが、初めてなのですと戻ってこられるところとして同窓会が存在することの重要性をその大学の将来への財産だと思えるようになったことも思い出しました。それぞれの人生を歩みながら、「かがやき」をつなぎ続けられるのは一人ひとりなのだと感じています。

一度思い出し始めるといろいろと出てきました。わたくしの大学院の時の母校（カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学研究科）で一度も出席していなかったと思い込んでいた同窓会に、出席した時に、気づいたことです。世界看護師協会（International Council of Nurses:ICN）の国際看護学術集会に参加するたびにそ、開催地で母校の同窓会が開かれ招待状をもらい出席していたのです！大学現地に戻らなくても会っていた仲間がいることに気づきました。同窓ではない人から、いったいこれは何の集まり？と聞かれたこともありました。この「かがやき」のひとこまをいただかなかっただら、スルーしていたかもしれません。個人的に感謝して、同窓会の体験の共有をご挨拶とさせていただきます。

三重県立看護大学学長 片田 範子
令和6年3月





卒業生を追う Vol. 6



片山 春香 大学2期

2期生の片山春香です。

大学卒業後は県内の病院へ就職し、6年間小児病棟へ勤務しました。その後、恩師とのご縁から本学で約2年間、助手の経験もさせていただきました。

約8年フルタイムで働き、出産を機に退職を決めました。約1年間は子育てに専念しましたが、パート看護師として復帰し、現在に至ります。現在は3人の子育てをしています。

助手の頃に担当した学生が、社会人となり、母となり、子ども達同士が同じ小学校へ通ったり、同じ病院で働くことが出来たり、色んなご縁を頂いています。

3人目の育休中に、「定年までこのまま看護師として働くのか?」という漠然とした疑問がわきました。「看護師も良いけれど、看護師を活かして何か出来ることはないか?」と思い、看護以外の資格取得や、看護師の起業・副業のコンサルを経験しました。現在は看護師として働く傍ら、看護師ライター、看護師イベントの企画運営などに携わっています。

看護師の仕事は好きですが、「看護師のサポートがしたい」という自分の役割が明確になり、現在に至っています。



大川 知美 大学12期

私は大学卒業後、県内の総合病院で助産師として就職しました。そこで9年働かせていただきました。その間、妊娠・出産・育児を経験しました。一人の頃と違い、家族や子どもがいる中で働くとなると、やりたいこととやれることのギャップやどうしても生じ、何かは妥協しないといけないことが出てきました。新人の頃と違い少しずつやりたいことや自分の看護観・助産観ができ始め、長女の入学を機に私自身もチャレンジしてみようと思い、退職・助産院の開業という道を選択しました。

もともと病院・地域・行政の連携、切れ目ない支援をしたいと思っており、開業し看護師／助産師／保健師としての私に何が出来るのか考えました。そして助産院・クリニック勤務・行政勤務という3足の草鞋を選択しました。切れ目ない支援を考えるためにはそれぞれの立場で継続支援をしたいと思ったので春には開業4年目となりますが続けられています。

現在は年間訪問件数200件を超え、イベント開催なども頻繁に行っています。またオンライン事業も行っています。

やりたいと思ったとき、それがベストなタイミング。私らしさを大切に、これからも諦めずに進んでいきたいと思っています。



村田 久美 大学15期

私は、昨年4月より三重県立看護大学の大学院に進学し、公衆衛生看護学を専攻しています。大学卒業後は、看護職を経験し、学校保健分野では養護教諭として働いてきました。これまで仕事で関わってきた対象者は、子どもから高齢者まで様々です。対象者のライフステージや健康状態に応じて多様なケア・支援が必要であり、それぞれの職における責任の重さを痛感するとともに、やりがいも実感してきました。医療現場と教育現場では求められる内容も立場も異なります。

学校現場において医学的側面をもって常駐しているのは養護教諭だけという場合が多く、様々な判断を迫られることもあります。初めは戸惑いもありましたが、異なる職種を経験する中で、自分の置かれた場所でよく観察し思考し行動する力、そして学びに対して貪欲であることの重要性を改めて感じました。これは、大学院進学の一つの理由でもあります。今、自分のすべきことは何か、今後のキャリアデザインも含めて自分と向き合い、見極めていきたいと思っています。そしてこれからも、日々研鑽に努め、自らの持てる力を生かしながら歩みを進めていきたいと思っています。



同窓会講演会

令和6年3月2日（土）に第1回同窓会講演会を実施しました。記念すべき第1回は、精神科医の大野裕先生をお迎えして、『こころを元気にする3つのC～認知行動療法を活かすこころの整え方～』というテーマでご講演いただきました。講演では、認知行動療法の考え方を日々のストレス対処に活かすコツについて、認知 (Cognition)、コントロール (Control)、コネクション (Connection) の3つのCをキーワードとしてお話していただきました。

今回の講演会は、会場での対面参加とzoomを使ったオンライン参加を併用するハイブリット方式で開催し、104名の参加がありました。参加者からは、具体的な事例の話を通しての内容でとても分かりやすかった、今後職場で学びを共有したい、オンラインで参加しやすかった。などの感想があり、大変満足度の高い講演会になりました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



総会報告

令和5年7月9日(日)オンラインにて同窓会本部総会を開催しました。総会では、令和4年度の本部活動報告、決算報告、修学支援基金への寄付について、令和5年度の予算案等についての検討・決議が行われました。

活動報告

令和4年4月23日	本部役員会	令和5年2月1日	令和4年度卒業生への加入説明会
5月28日	本部役員会	2月11日	本部役員会
7月9日	本部役員会	3月18日	令和4年度卒業証書・学位記授与式出席
8月6日	本部総会開催		卒業生への蛍光マーカー寄贈
10月22日	本部役員会	3月27日	地域交流センターとの打合せ
12月17日	本部役員会		
12月22日	会員発行 (第14号「かがやき」)		

決算報告

令和4年度 三重県立看護大学同窓会決算

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	収入済額	備考
1 入会金等	1,200,000	478,000	令和4年度卒業生分(28名)
2 雑入	150	112	預金利子
3 繰越金	14,305,603	14,305,603	
収入合計	15,505,753	14,783,715	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	支出済額	備考
1 事業費	730,000	778,412	会報誌印刷・発送委託等
2 一般管理	465,000	315,674	委託費用(会員名・住所管理費、ホームページ管理費、データ投下費)卒業式花代、卒業記念品代等
3 支部活動費	240,000	0	
4 予備費	14,070,753	2,644	消耗品費等
支出合計	15,505,753	1,096,730	
差引残高	13,686,985		次年度へ繰越



< HP リニューアルのお知らせ >



この度、令和6年3月に三重県立看護大学同窓会の公式ホームページをリニューアルしました。今後は、会報誌の発行やイベント開催時など、適宜情報を更新していきますので、お時間のある時にご覧ください。

リニューアルに伴い、会報誌をHPからも閲覧できるようになりましたので、これまで会報誌を受け取られていないご友人や同窓生にもお声がけいただき、この機会に情報を共有していただきますようご協力をお願いいたします。

また、「お問い合わせ」にいただいたご意見は同窓会役員が直接確認しますので、今後の講演会の要望や同窓会活動へのご意見など、“みなさまの声”をお届けください。役員一同お待ちしております。



< 今後、同窓会からのお知らせは、メール配信に移行します >

これまで会員のみなさまに郵送してきた同窓会からのお知らせ（会報誌、総会・講演会開催の案内など）ですが、ペーパーレス化によるSDGsへの貢献および同窓会会費の有効活用を長期的に維持することを目的として、今後はメール配信に変更することにしました。令和5年度の新入会者より、メール配信を開始します。

現在、郵送でのお知らせを受け取られている方につきましても、三重県立看護大学同窓会HPの「住所変更受付」よりメールアドレスをご登録いただき、メール配信への移行にご協力をお願いいたします。

メールアドレスをご登録いただいた方から、順次、同窓会からのお知らせをメールで配信させていただきます。

クラス会支援

同窓生相互の親睦を深める活動の一環として、クラス会の開催支援を行っています。支援内容は、参加者1人あたり500円の開催支援金の給付（但し、当日の出席者が10名以上であること）、ホームページへの開催案内の掲載等をさせて頂いております。

詳しくは、同窓会ホームページをご覧ください。

※お申し込みは、学年代表委員からお願いします。

訃報のお知らせ

三重県立看護大学名誉教授の川出 富貴子先生が2023年9月22日に逝去されました。故人のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。